

ジャズの歴史について

ポピュラー音楽はジャズに根ざしているということをよく耳にする。ジャズというジャンルの音楽を聴かないと専攻しているポピュラー音楽の課題をこなせなくなり、聴いているうちにその魅力にはまってしまった。新たな音楽のジャンルを生み出しているジャズとは一体何なのだろうか。ジャズ誕生の歴史から自分がなぜジャズに惹かれるのか考察する。

ジャズのルーツはブルースであると言われている。ブルースとは黒人奴隷の労働歌が元とされている。15世紀の後半、大航海時代を経て、ヨーロッパでアフリカの黒人の存在が発見される。そしてはじめて黒人を目にして白人たちは黒人を人間ではないとみなし、さまざまな国に奴隷として連れて行った。黒人奴隷たちは大規模農地改革のため北アメリカにも連れて行かれ、つらい環境の中で労働歌を歌って気持ちを押し殺し、励ましあって労働をしたのである。それがブルースである。ブルースの特徴は、片方が呼びかけて、それにもう片方が答えるというコールアンドレスポンスである。これは、その後生まれるジャズにも息づいている。1861年南北戦争が始まり、1865年に奴隷制廃止を求めた北部が勝利したにもかかわらず、南部の黒人に対する差別がひどくなった。また今まで無賃金で働かされていた黒人にも賃金を払わなくてはいけなくなり、多くの黒人が南部から追い出されるかたちになった。仕事を求め、多くの黒人はアメリカ合衆国中をさまようことになる。

ジャズが生まれた場所はニューオーリンズである。そこにはフランス人と女性黒人奴隷との間に出来た黒人と白人との混血のクレオールという人種が存在した。南北戦争前、クレオールは黒人とは違い、優遇されていた。クラシック音楽を学び、白人と同じように勉強していたのである。しかし、南北戦争後、黒人に対する人種差別が悪化し、クレオールまで、黒人と同じ扱いになった。そこでクレオールと黒人が一緒に勉強や音楽を共有し、ジャズが生まれたのである。当時、ニューオーリンズにはいろいろな音楽があふれており、シンコペーションのリズムが特徴的なラグタイム、スピリチュアル、ブルースなどが組み合わさって、ジャズが生まれた。奇跡の融合である。黒人の怒りなどの感情のエネルギーが融合して音となり、この世に生まれたのかもしれない。そしてそのエネルギーは現在も世界中で生きづいている。

ジャズは時代とともにいろいろなスタイルがある。ニューオーリンズのマーチングバンドから始まり、1930年ごろから白人ダンスのためのスウィングジャズが流行り、それに反発するように即興性の強いビバップの時代が訪れる。そして1960年代には何でもありのフリージャズが生まれた。特にビバップからフリージャズにかけての時代がおもしろい。ビバップは少人数の即興演奏であり、テーマを演奏し、サクソやトランペットの即興のソロ演奏、その後、またテーマを演奏するという流れがある。また複雑なコード進行の中で即興演奏を楽しむのが特徴的だ。そんな中、マイルス・デイビスがコード進行に頼らない、モードという新しいスタイルを開拓した。モードは旋法とも呼ばれる。ほとんどの曲が長調と短期に対し、モードはドリアン、フリジアンなどと呼ばれる全部で7つある旋法をコードとともに使い分け、演奏される。例えばD ドリアンといえば、レミファソラシドの中で好きな音を鳴らして演奏するのである。自由すぎて難しい感じがする。一方、ジョン・コルトレーンはジャイアントステップというコード進行を開発した。五度円を120度ずつに進んでいくコード進行である。BのはEb、Gという順にコードが進んでいく。

1960年ごろにフリージャズが生まれる。ジョン・コルトレーンの『マイフェーバリットシングス』などを聴くとフリージャズの面白さを痛感する。メロディーは無視され、自分の感覚で生々しく演奏される。不協和音のように鳴り響く音色や個々のリズムが時々ほかの演奏者とも合う。まさに人間関係を表したような音楽である。

ジャズとは皮肉にも黒人が奴隷として連れてこられ、しかも南北戦争が起きなければ生まれなかったかもしれない。その間、歴史上は肯定できないようなひどいことが行われてきた。このような歴史的背景の中で生まれたジャズには人間の苦しみや喜びなど人生とリンクしたものを感じ、そこに魅力を感じるのだ。だから海を渡り、色々な国の音楽に影響を与えたのだろう。いろいろな音楽があってもいい。いろいろな人生があってもいい。そしていろいろな人がいろいろな性格を持って、いろいろな状況で一生懸命生きているのだ。だから喧嘩をやめて仲良くみんなで暮らそうじゃないか。ジャズを聴いていると私にはなぜかそんな声が聞こえてくる。

【参考文献】

小方厚

2007『音律と音階の科学』講談社

リロイ・ジョーンズ

2004『ブルースピープル』音楽之友社

悠雅彦

2000『ジャズ CD の名盤』文春新書

悠雅彦

2008『大衆音楽史』中公新書

テレビ放送 NHK 教育

2010年4月~6月 毎週土曜日放送 スコラ 講師：坂本龍一